

青春一回帰

あがた42会愛のリレー

母校愛のリレー実行委員長

高42回 柳沢 千加



“We Will Rock You” スマホでは教えてくれない授業” わたしたち42回生のテーマです。

2人の仲間が高校時代や卒業後の経験を通して各々別の角度から得たものを在校生の皆さんに聴いていただく予定です。

4月の式典が延期になり、いつ開催と言えないのが残念です。講演予定の2人は仙台、下関と松本から遠く離れた場所に住んでいます。母校や在校生の皆さんへの愛は並々ならぬモノがあります。延期となってしま



会の様子

ましたが、皆さんに思いを届けたいとモチベーションを変わず思い続けてくれます。5年ほど前から引き継ぎ

に参加させていただくようになり、先輩方は苦労話と共に異口同音、「最後はみんな協力してくれた、得られた経験は大きかった」とおっしゃっていました。わたしはといえば委員長とは名ばかりで、委員会が開かれても会議の腰を折り脱線させ、おぼちゃんパワー全開でした。

しかし、この活動に関わるに連れ、諸先輩方がどれだけ母校愛に溢れ、在校生の皆さんのためにどれだけ活動しているかというのを思い知らされました。わたしが在籍していた時にもそのような活動して下さっていたのだと今頃になって気付かせていただいた次第です。

中止になってもおかしくない講演をなんとか開催できるようにご尽力くださっている、校長先生を始め、ご担当の青木先生、本当にお世話になります。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。

わたし達は今、お互いを励まし自分自身を励まし、このコロ

卒業50周年に寄せて

県陵獅子の会会長

高21回 吉江 孝



県陵獅子の会の会員(21回生)は古稀を迎えました。

獅子の会は、私たちの卒業年度が昭和44年(1969年)であったことに由来します。

卒業後半世紀が過ぎ、古稀(数え70歳)を迎えました。卒業50周年を元気で迎えることができ

た会員が一堂に集まり、『古稀記念大同期会』を開催しようと言うことで、開催準備委員会を立ち上げました。準備委員会を何回か重ねて、令和2年の4月4日(獅子の会なので)、美ヶ原温泉のホテル翔峰で開催することを決定しました。

残念な事に450名の同期生の1割弱が既に亡くなっています。参加を呼びかける案内を、出欠席の確認返信ハガキを同封して住所が判明している会員300名強に送りましたが、返信ハガキで回答を頂いた方が160名。

ナ禍を乗り越えようとしていきます。共に力をあわせてと言いながらも、社会的距離を保たなければなりません。そうです!

同期生の半数の方は無反応でした。80名の出席者が確認できたところで、新型コロナウイルス騒ぎです。開催するべきか否かの論議をする準備委員会を3月4日に行い、来年の4月4日に延期することになりました。

折角なので、この会報を読んでも頂いている同期の方に、同期会の概要をお伝えしておきます。同期が一齐に集まる最後の機会になると思うので、ただ飲んで騒ぐだけの会ではつまらない記憶にも残らないだろうということ、私たち同期生の恩師でもあり、日本の俳句会の重鎮、俳人宮坂静生氏に講演を依頼しました。82歳で日本全国を駆け回っている多忙な先生が、4月4日のスケジュールが偶然空いていたことで、快く引き受けて頂きました。聞けば、東京同窓

会でも俳句会を開催しているとのこと。折角の機会だから、同期の仲間にも各自一句ずつ持ち寄って、先生に講評頂ければ、楽しい会になるものと思います。宮坂先生には来年のスケジュールも確認済みです。コロナ禍が終息すれば、同期会を開催します。笑顔で再会できればと思います。

物理的な距離を取りながらも心理的な距離を縮めて、この難局に立ち向かっています。わたし達だからこそ出来ます!“We Will Rock You”

我々の先輩の皆さんも、卒業50周年に同期会を開催して、同窓会や母校に幾ばくかの寄付をしていることを聞きました。事務局では、寄付金を募る事は難しいと考え、その代わりに同窓生の1割前後しか納入していない同窓会費を、獅子の会の会員だけで100名以上に納入してもらおう事を考えました。特に、口座自動引き落としでの会費納入を呼び掛けたところ、100名弱の口座引き落としが実現し、直接振込の会員を合わせると110名以上になりました。古稀記念に母校同窓会に貢献できる取り組みだったと自負するところ、ご協力頂いた同期の皆さんありがとうございました。